

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて抗原検査を受けましょう

### 失敗した抗原検査から PCR 検査へ

松戸市議会は、12月定例会に先立って、11月26日に臨時議会を開催しました。その主な内容の1つは、新型コロナウイルス感染症にともなう経済の低迷を受け、職員及び特別職のボーナスを減額する議案です。そして、市民がPCR検査を受けるための費用負担に充てる、約2億円の補助費も主要議案の1つでした。これは、高齢者をはじめとして、高齢者施設や保育所、学校などに勤務する方々を対象としたもので、1回あたり2万円を補助するものです。現在、市内でPCR検査を受けるには、2万～2万5千円程度の費用がかかりますが、これでは検査費用の大部分が補助金でまかなえることになります。

市は、去る8月3日の臨時議会に、抗原検査の補助費用2億円を議案として上程しました。しかし、1万人程

度と見込んだ検査者数は、11月18日の時点でわずか180名と伸び悩み、政策転換を余儀なくされた恰好です。市は今後、対象者への検査受診の重要性を伝えながら検査数を増やしたいとしており、感染拡大防止や感染経路の想定に全力をあげて取り組むつもりだと、決意をにじませています。



### 事業主への支援金を活用しよう

市内の商店街を回ったり、企業の経営者と話をしたりすると、市が予算付けした経営支援策について、知らない方々も少なくないことを実感させられます。新型コロナウイルス感染症によってもたらされた経済への大きなダメージは、事業者の体力を奪っています。少しでも経営の手助けになればと打ち出す支援策について、既に申し込みが終了しているものもありますが、まだ申請が間に合うものもあります。

現在、検討して頂ける公金に、「松戸市中小企業等経営支援金」があります。昨年と今年の各月の売上を比較して、20%以上50%未満の減少があった月があり、国の持続化給付金を受け取っていない企業や事業主が対象です。申請は郵送で行い、来年1月29日の消印有効となっています。交付額は従業員数に応じて異なり、0～5人10万円、6～10人20万円、11～20人30万円、21～50人40万円、51人以上50万円となっています。見逃すことなく、ぜひ活用してください。



## みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

### 市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

### その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

### 趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94